

自然観察活動記録「京都府立植物園」

記録者：3班 栄尾憲雄

実施日：令和6年3月8日（金） 天候：晴れ 気温：10°C(正午)

参加者：20人（1班：5人、2班：8人、3班：7人）

実施内容：10時朝礼後10時10分より植物園の上月さんの案内で観察開始。

メタセコイアの葉の対生とラクウショウの互生による樹形の違い、ヤナギの雄花の観察、落葉高木樹のエノキ、ムクノキ、ケヤキ、コブシと落葉針葉樹のスイショウの落葉の今の姿の解説と観察。ヤマコウバシの落葉しないわけについての解説 これから本番の植物生態園へやっと花らしいミツマタ、キブシ、ゲンカイツツジ、イヌガシの花を観察、コナラの芽ばえは地下子葉型といって二枚の子葉がドングリの中にあって養分を幼苗に送り続けるという。カキカズラはどうしてあんな高いところまで登れるかは葉腋に湾曲した鉤があってそれで他の樹木に絡みついてのぼるから、ハシバミの雄しべと可愛い雌しべを観る、これからアジサイ園に入りミツマタの花、ウワミズザクラの落枝痕、イチョウの短枝の年輪を観察クスノキ通りでシナマンサクの花を観て大芝生地を横切りもみじ桜林へ珍しいアメリカハナノキの花カワズザクラの花を観て左手に伊吹山を観ながらミモザの花へ

今日はミモザの日=国際女性デーここで上月さんと別れて、昼食の植物園会館へ11:45

12:15各自シュンラン展を観てスタート観覧温室を回り植物生態園入り口で解散13:30

解散後個別に生態園をユキワリイチゲ、ハタザオ、セツブンソウ、セリバオウレン？など観る。

		
案内開始	イヌガシの花	アメリカハナノキの花
		
比叡山	ミモザ	集合写真